

解熱鎮痛剤の分析 1 Analgesics 1

解熱鎮痛剤には、解熱鎮痛作用を持つ非ステロイド抗炎症薬やサリチル酸誘導体、アニリン誘導体などの化合物があり、総合感冒薬に含まれています。

本分析では、サリチル酸誘導体であるアスピリン、エテンザミド、ピラゾロン誘導体であるアンチピリン、アニリン誘導体であるアセトアミノフェン、非ステロイド抗炎症薬であるメピリゾールの5種の一斉分析を行いました。L-column2 ODSを用いるとどのピークもテーリングすることなく、シャープなピークが得られています。

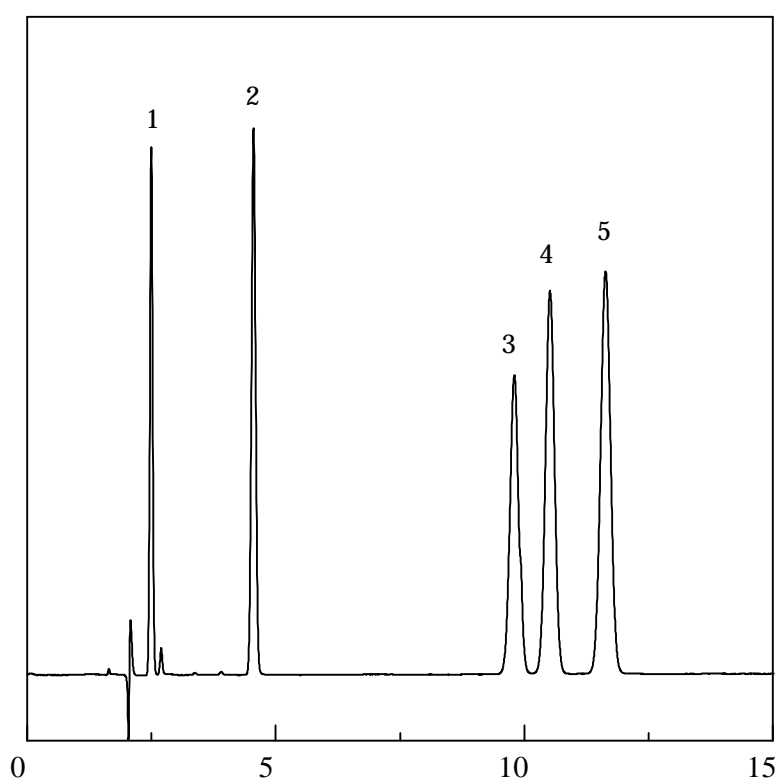
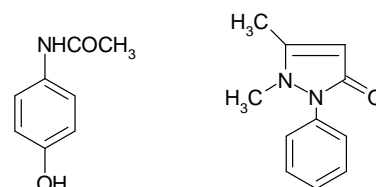
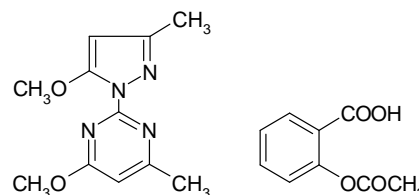


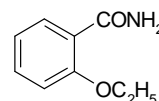
Fig. Chromatogram of analgesics



1. Acetaminophen (50 mg/L) 2. Antipyrine (50 mg/L)



3. Mepirizole (100 mg/L) 4. Aspirin (100 mg/L)



5. Ethenzamide (100 mg/L)

【Analytical conditions】

Column	: L-column2 ODS (5 μm, 12 nm) 4.6 × 150 mm
Mobile phase	: CH ₃ CN/20 mM H ₃ PO ₄ (20/80)
Flow rate	: 1.0 mL/min
Temperature	: 25
Detection	: 220 nm
Injection volume	: 1 μL in CH ₃ CN